

事務事業名	観光施設管理事業	所属部	産業観光部	所属課	産業施設課	
総合計画体系	政策名	〈V〉挑戦し活力を産みだすまち〈産業〉		所属G	産業施設グループ	
	施策名	〈36〉観光の振興		課長名	高橋 澄人	
	目的・対象	A)市外の人 B)市民	意図	A)市内で観光を楽しんでもらい、消費してもらう。 B)観光情報を発信する。	担当者名	錦織 慎司
	基本事業	〈107〉受け入れ施設の充実		電話番号	0854-40-1093	
目的・対象	観光客	意図	観光施設を利用できる。	(内線)	2421	
予算科目			会計	0:1350:1	大事業名	観光施設管理事業
			科目	0:5200:1	中事業名	観光施設管理事業

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
①市内外からの入込客 ②管理対象物件	①観光してもらう ②適正管理する
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (H16 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)	市内観光施策施設の管理及び維持 ・大東 みはらし広場 ・大東 八雲山文学碑の径 ・大東 ふれあいパーク ・木次 駐車場(4箇所) ・木次 天が淵、おろち、八本杉公園 ・木次 長寿の福竹 ・三刀屋 城跡公園 ・三刀屋 雲見の滝 ・三刀屋 観光施設公衆トイレ(2箇所) ・三刀屋 三刀屋河川敷公衆トイレ ・吉田 たたら山内公衆トイレ ・掛合 城山公園及びその周辺
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R4年度実績(R4年度に行った主な活動)	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)
①光熱水費等経常経費の支払い ②施設用地借地料、リース料の支払い ③管理委託契約締結及び支払い ④公用車管理 ⑤新型コロナ対策として体温計購入	・H27年度までは総合センター事業管理課で維持管理を行ってきたが、組織機構改革によって、H28年度は産業振興部産業施設課、H29年度から産業観光部産業施設課が所管となった。 ・H29年度以降については、全市的な考え方から中事業の整理を行った。 ・H30年度から修繕を別事業に集約。 ・R04年度、新型コロナ対策として市内各施設に体温計を購入。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R2年度(実績)	R3年度(実績)	R4年度(実績)	R5年度(計画)
ア 日本の人口	千人	125,325	125,120	124,947	124,400
イ 観光入込客数	万人	99	93	7月確定見込	108
ウ 観光消費額	百万円	2,006	1,982	7月確定見込	2,566
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R4年度決算)		② コストの推移		単位	R2年度(決算)	R3年度(決算)	R4年度(決算)	R5年度(計画)
【報償費】4千円【消耗品費】385千円 【燃料費】175千円【光熱水費】2,037千円 【修繕費】73千円【通信運搬費】3千円 【手数料】412千円【保険料】34千円 【委託料】3,485千円【使用料】138千円 【賃借料】1,703千円【備品購入費】5,198千円 【公課費】8千円【補償補填及び賠償金】123千円 【合計】13,778千円		財源内訳	国庫支出金	千円			5,197	
	県支出金		千円					
	地方債		千円					
	その他		千円					
	一般財源		千円	7,571	7,814	8,581	8,924	
		事業費計	千円	7,571	7,814	13,778	8,924	

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	施設が利用できるよう適切な維持管理を行った。
② 事業実施するうえでの課題	業務委託等により最低限の維持管理は行っているが、樹木の伐採や施設の老朽化等の課題がある。
③ 課題解決に向けた改革改善等	観光資源を守るために最低限の維持管理であり、現状維持が必要である。